

令和2年度 当初予算要求事業内容説明書

5款 2項 1目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

基本施策6 国民健康保険、後期高齢者医療の適正運用

【会計】国民健康保険特別会計

施策3 保健事業を推進します

5款:保健事業費 2項:保健事業費 1目:保健事業費

事業	5	人間ドック助成事業
担当所属	健康保険課	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
18,396千円	18,047千円		349千円		

【事業の概要】

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・助成対象者は、受検日に国民健康保険の被保険者で納期限が到来している国民健康保険税が完納している20歳～74歳の方です。・短期人間ドック及び脳ドックそれぞれに係る経費の2分の1以内の額で各10,000円を上限として助成します。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none">・被保険者の健康管理及び健康増進の一助とするとともに、生活習慣病を始めとする疾病の予防、早期発見及び早期治療等を目的とします。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none">・受診者が増加することにより、健康管理及び疾病の予防や早期発見・早期治療等につながり、医療費削減効果が期待できます。・人間ドックの結果を市に提供していただくことにより、特定健康診査の受診率の積み上げになり、特定健康診査の受診率の向上につながります。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
1 報酬		
一般事務員報酬	283千円	会計年度任用職員1人分
4 共済費		
社会保険料	45千円	会計年度任用職員に係る社会保険料
9 旅費		
パートタイム会計年度任用職員費用弁償(通勤費)	21千円	会計年度任用職員分通勤費
11 需用費		
消耗品費	47千円	
19 負担金補助及び交付金		
人間ドック助成金	18,000千円	
計	18,396千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和2年度計画値
人間ドック助成利用件数(総数)	1,900件
人間ドック助成利用件数(短期人間ドック分)	1,450件

人間ドック助成利用件数(脳ドック分)	450件
人間ドック助成利用率(助成利用者数/助成対象被保険者数)	4.50%